

目 次

スウェーデンにおける「積極的安楽死」の問題 — 論争とシンポジウム —	尾 崎 和 彦 (1)
形成期の革命的オプロイテとその周辺	三 宅 立 (43)
図像学の源泉研究 — ホルス・アポロ著「神聖文字」について —	小 島 久 和 (113)
Fr. シュレーゲルの「神秘的实在論」と「新しい宗教」の構想	小 林 信 行 (163)
「沈黙」から「言葉」へ — ハーマン・メルヴィルの「白鯨」と「ピエール」をめぐって —	浜 田 庫 司 (185)
「二河白道」と韓国巫俗儀礼	日 向 一 雅 (395)
《重点個人研究》	
近代ヨーロッパにおける科学的観念としての普遍言語 (I)	浜 口 稔 (221)
朝鮮植民地における農業政策の展開 — とくに労働力政策との関連について —	海 野 福 寿 (253)
《特別研究》	
初期ポーランド社会主義運動とロシアおよびロシアの革命運動	阪 東 宏 (311)
アメリカ黒人と「西部」	関 口 功 (339)
《個人研究》	
西洋文学における身体と言語 — オデュッセウスの裸身 —	近 藤 正 毅 (361)
「キャンプ」から「キャンプ」へ — 「新大陸」のニック・アダムス —	中 尾 秀 博 (377)